

平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月7日

上場会社名 尾張精機株式会社
 コード番号 7249 URL <http://www.owariseiki.co.jp/>

上場取引所 名

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 兵藤 光司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 管理本部長 (氏名) 児玉 啓二

TEL 0561-53-4121

四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	13,209	4.8	456	173.3	594	113.8	345	83.0
30年3月期第3四半期	12,601	3.2	166	38.3	278	4.0	188	36.3

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 173百万円 (58.2%) 30年3月期第3四半期 415百万円 (47.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	299.02	
30年3月期第3四半期	163.27	

当社は、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	17,984	12,043	66.1
30年3月期	17,043	11,943	69.2

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 11,892百万円 30年3月期 11,796百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		3.00		30.00	
31年3月期		30.00			
31年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成30年3月期の第2四半期末配当金については当該株式併合前の金額を、期末配当金については当該株式併合後の金額を記載し、年間配当金合計は「 」として記載しております。なお、株式併合後の基準で換算した、平成30年3月期の1株当たり年間配当金は60円00銭となります。

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,400	3.1	550	122.6	630	73.7	470	86.8	407.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.7「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 有

会計上の見積りの変更 : 有

修正再表示 : 無

(注)「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」第5条の4に該当するものであります。詳細は、添付資料P.7「2.四半期財務諸表及び主な注記(3)四半期財務諸表に関する注記事項(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期3Q	1,165,950 株	30年3月期	1,165,950 株
31年3月期3Q	11,553 株	30年3月期	11,481 株
31年3月期3Q	1,154,431 株	30年3月期3Q	1,155,007 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

(注)当社は、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は13,209百万円と、前年同四半期に比べて607百万円(4.8%)の増収となりました。

利益につきましては、営業利益は456百万円となり、前年同四半期に比べて289百万円(173.3%)の増益となりました。経常利益は594百万円となり、前年同四半期と比べ316百万円(113.8%)の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は345百万円となり、前年同四半期に比べ156百万円(83.0%)の増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(日本)

当セグメントにおきましては、主要なお客様である自動車メーカー向けの段付きボルトや新規部品の受注の増加により増収、増益となりました。売上高は8,722百万円(前年同四半期比1.2%増)、経常利益は176百万円(前年同四半期比4百万円)となりました。

(アメリカ)

当セグメントにおきましては、主要なお客様である自動車メーカー向けの段付きボルトおよびタッピングスクリューの受注の増加により増収となりましたが、品質向上のためのコストの増加により減益となりました。売上高は815百万円(前年同四半期比4.6%増)、経常利益は17百万円(前年同四半期比63.2%減)となりました。

(インド)

当セグメントにおきましては、主力部品であるシンクロナイザーリング、シャフトの受注の増加により増収、増益となりました。売上高は1,321百万円(前年同四半期比9.3%増)、経常利益は360百万円(前年同四半期比112.1%増)となりました。

(タイ)

当セグメントにおきましては、主力部品であるシンクロナイザーリングの受注の増加により増収となりましたが、材料費の高騰等により減益となりました。売上高は2,168百万円(前年同四半期比17.5%増)、経常利益は91百万円(前年同四半期比36.6%減)となりました。

(インドネシア)

当セグメントにおきましては、期中より本稼働を開始した前年同四半期と比べ、増収、増益となりました。売上高は181百万円(前年同四半期比21.0%増)、経常利益は2百万円(前年同四半期は11百万円の経常損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ941百万円増加し、17,984百万円となりました。これは、有形固定資産が130百万円、投資有価証券が202百万円減少したものの、現金及び預金が919百万円、受取手形及び売掛金が264百万円増加したことによるものです。

負債については、前連結会計年度末と比べ841百万円増加し5,940百万円となりました。これは借入金が855百万円増加したことによるものです。

純資産については、前連結会計年度末と比べ100百万円増加し、12,043百万円となりました。これは、利益剰余金は275百万円増加したものの、その他の包括利益累計額が179百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の連結業績予想につきましては、平成30年5月11日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,358,278	4,278,007
受取手形及び売掛金	2,949,428	3,214,215
商品及び製品	927,365	906,733
仕掛品	833,598	856,706
原材料及び貯蔵品	1,226,393	1,258,775
その他	264,506	551,001
流動資産合計	9,559,570	11,065,440
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,713,395	1,645,544
機械装置及び運搬具(純額)	2,215,576	2,225,129
土地	891,880	892,481
リース資産(純額)	325,767	273,485
建設仮勘定	105,178	69,330
その他(純額)	90,143	105,208
有形固定資産合計	5,341,941	5,211,179
無形固定資産	25,279	20,818
投資その他の資産		
投資有価証券	1,289,841	1,086,869
退職給付に係る資産	423,979	418,759
繰延税金資産	26,900	26,677
その他	381,726	160,663
貸倒引当金	△5,750	△5,750
投資その他の資産合計	2,116,697	1,687,220
固定資産合計	7,483,918	6,919,218
資産合計	17,043,488	17,984,659

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,549,786	2,636,314
1年内返済予定の長期借入金	60,000	240,000
リース債務	77,406	78,462
未払法人税等	270,666	370,025
賞与引当金	199,374	114,069
役員賞与引当金	15,000	11,300
製品保証引当金	7,600	11,200
未払消費税等	63,563	60,316
未払金	50,142	203,256
未払費用	562,571	531,608
設備関係支払手形	126,476	—
その他	346,744	336,866
流動負債合計	4,329,332	4,593,419
固定負債		
長期借入金	120,000	795,000
リース債務	236,347	160,561
繰延税金負債	231,329	194,701
役員退職慰労引当金	33,176	41,705
退職給付に係る負債	27,542	30,232
資産除去債務	114,640	114,640
その他	7,370	10,543
固定負債合計	770,406	1,347,384
負債合計	5,099,739	5,940,803
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,093,978	1,093,978
資本剰余金	757,373	757,382
利益剰余金	9,612,444	9,888,374
自己株式	△35,756	△35,998
株主資本合計	11,428,039	11,703,736
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	468,570	326,957
為替換算調整勘定	△244,308	△261,906
退職給付に係る調整累計額	144,550	123,907
その他の包括利益累計額合計	368,812	188,958
非支配株主持分	146,896	151,160
純資産合計	11,943,749	12,043,855
負債純資産合計	17,043,488	17,984,659

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	12,601,716	13,209,429
売上原価	11,301,916	11,673,255
売上総利益	1,299,799	1,536,174
販売費及び一般管理費		
販売費	589,143	538,189
一般管理費	543,766	541,945
販売費及び一般管理費合計	1,132,910	1,080,134
営業利益	166,888	456,039
営業外収益		
受取利息	6,545	7,708
受取配当金	72,090	79,823
為替差益	6,348	18,555
その他	30,714	36,025
営業外収益合計	115,699	142,113
営業外費用		
支払利息	3,296	2,145
その他	1,100	1,326
営業外費用合計	4,396	3,472
経常利益	278,191	594,681
特別利益		
固定資産売却益	2,432	1,662
特別利益合計	2,432	1,662
特別損失		
固定資産売却損	3	4,192
固定資産除却損	3,186	35,028
特別損失合計	3,190	39,221
税金等調整前四半期純利益	277,433	557,123
法人税、住民税及び事業税	71,858	170,146
法人税等調整額	8,092	34,587
法人税等合計	79,950	204,733
四半期純利益	197,482	352,389
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,899	7,193
親会社株主に帰属する四半期純利益	188,583	345,195

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	197,482	352,389
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	167,701	△141,612
為替換算調整勘定	48,211	△16,506
退職給付に係る調整額	2,422	△20,642
その他の包括利益合計	218,335	△178,761
四半期包括利益	415,818	173,627
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	404,003	165,342
非支配株主に係る四半期包括利益	11,814	8,285

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算について、連結子会社は当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期前純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

有形固定資産の減価償却方法の変更

有形固定資産の減価償却方法については、従来、当社および国内連結子会社では主に定率法を採用する一方、海外連結子会社では定額法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より当社および国内連結子会社において定額法に変更しております。

これは、当社および国内連結子会社の有形固定資産の使用実態などを検討した結果、定額法による平準化した減価償却が資産の稼働実態を適切に反映した費用配分方法であると判断し、変更いたしました。

この変更により、従来の定率法を継続した場合と比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益はそれぞれ105,451千円増加しております。

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間
(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	アメリカ	インド	タイ	インド ネシア	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高								
外部顧客への 売上高	8,617,686	779,396	1,208,602	1,845,711	150,318	12,601,716	—	12,601,716
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	420,974	—	405,426	221,267	—	1,047,668	△1,047,668	—
計	9,038,660	779,396	1,614,029	2,066,979	150,318	13,649,384	△1,047,668	12,601,716
セグメント利益 又は損失(△)	4,081	47,454	170,181	144,367	△11,076	355,009	△76,818	278,191

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	日本	アメリカ	インド	タイ	インド ネシア	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高								
外部顧客への 売上高	8,722,437	815,414	1,321,580	2,168,143	181,852	13,209,429	—	13,209,429
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	335,680	—	722,856	212,849	—	1,271,386	△1,271,386	—
計	9,058,118	815,414	2,044,437	2,380,993	181,852	14,480,816	△1,271,386	13,209,429
セグメント利益	176,341	17,445	360,877	91,457	2,577	648,698	△54,017	594,681

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。